

◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 環境サポート埼玉

20A-16

代表者：代表理事 鈴木敏資

URL :

1. 活動が必要とされた状況

環境問題が大きな課題になっている今日、子どもたちは、どのように受け止めているのか。近くを流れる清流・高麗川を利用して、水辺に親しむとともに、水環境は自分たちの暮らしに結び付いていることを理解し、さらに、日常生活のあり方を見直し・工夫することが水環境の保全にも繋がる。このことを意識付けようとする試みである。それには、楽しい体験型の学習機会を継続的に提供する必要があると考え、計画した。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

実施時期 平成 29 年 7 月 27 日（木）～28 日（金）

参加人数 坂戸市内小学校など 1～6 年生 29 人参加

活動内容

- ① 高麗川の水質調査（新戸口橋上流地域）
高麗川の水を採取し、パックテスト（化学的酸素要求量）により水質状況を調査するとともに、持参した家庭生活排水についても行い、河川などに与える影響を学習
- ② 高麗川（新戸口橋下上流 100m 以内）に棲む小魚や底生生物の調査
調査地点での魚類、底生生物を採捕し、その生息状況を調査
- ③ 新戸口橋周辺のごみ拾い（花火くずなど）
- ④ 体験学習の成果を中心とした内容を夏休みの自由研究としてまとめる。



3. 活動の成果

事故や健康を害する子どももなく、無事、計画どおり実施することができ、所期の成果を収められた。参加した子どもたちは初めて魚獲りする子がほとんどであったが、生き活きとし、学習態度も熱心であった。アンケート調査においても楽しい学習であったこと、環境への関心を深める良い機会であったことなど、良好で期待した結果が出ている。



この種の参加型の体験学習事業を通じて、川は楽しいと実感し、水環境以外の環境についても関心を持ち、さらに環境と生活との関わりについて理解を深める機会になったと感じています。

4. 今後に残された課題

- ① 参加対象者の幅を広げたこと（4 年生以上からを 1 年生からに、親子参加も可）から参加希望者が予定定員の 3 倍にもなり、参加できない子どもたちが多くなってしまった。希望に応えられるよう、次回以降は複数回の開催などの検討が必要である。
- ② 水環境に親しむ環境学習を通じて、楽しさや考える力、達成感、満足感がさらに高まるよう、事業内容をさらに検討し、実施面で一層創意工夫したい。
- ③ 事業実施の自主財源確保に努め、継続性を高めていく必要がある。